



## 今年度のE S Dの重点目標（取組）

○生活科・総合的な学習の時間を軸とし、情報活用能力やE S Dの視点を盛り込んだ単元配列表を見直し、活用していく。

○地域との連携を図りながら、自然や社会に貢献しようとする態度を育てる。

### 【令和7年度 E S D実践報告】

#### 1 総合的な学習の時間「食について考えよう」

本年度の学習にあたり、「食」というテーマの中で何ができるのか子供たち主体で学習計画を立て見直しをもたせた。

米や野菜をただ育てるのではなく、子供たちの希望をもとにグループを作り、一人一人に役割を与え、「責任者」と設定した。何を育てたいのか、どのような育て方をすればよいのかなど、必要感のある調べ学習を行った。また、調べたことをすぐ実践できるようにし、活動への意欲を高めた。



↑野菜の種類や水やりの仕方、支柱の立て方等調べたことを生かして活動していった。

#### 2 クリスマス会のための買い物学習

クリスマス会で必要なものを、近くの店に買いに行くという学習を行った。一人で物を買うという経験がない児童がほとんどだったので、硬貨の取り扱い方、計算やレジでのやり取りなどを体験しながら学べる機会を設定した。硬貨を見分けやすいようにケースの財布（写真1）を用意したり、硬貨弁別カード（写真2）を渡したりするなど、児童の実態に合わせて支援を行った。

「スーパーさくら」という学級での簡易的な店で、品物の値段に合わせて硬貨を出す練習やレジでのコミュニケーションを実際に練習することで、自信をもたせることができた。

「クリスマスルーム」や「クリスマスケーキ」に必要なものを児童自身が必要感をもって考えることができたので、実際に使ったり食べたりするときも大切に使う姿が見られた。

（写真3）



写真1



写真2



写真3

